

令和4年度
2022年度
事業計画

社会福祉法人めぐみ学園

日の出保育園

テーマは、「 “振り返り ” “ことばがけ” 」

テーマ
“振り返り”

先般の令和3年度の保育園運営自己評価の集計・考察から、次年度のテーマを令和3年度に引き続き、“振り返り”として、保育園の運営にあたっていきます。職員の皆さんは、

P→D→C
G→P

① 自己目標を設定し、日々目標達成に向けた実践に努められてきました。目標を立てることで、やるべきことが具体的に見えてきますし、実践してきたことがどうだったのか評価につながります。

② クラスの年間指導計画や月間指導計画も然りです。

振り返りの機会

③ 園内・園外研修を通して、自分が実践してきたことを照らし合わせて振り返ったり、新たな気づきや発見になったり、次への意欲喚起につながったことでしょう。

④ 7～12月に実施した「自己チェックシート」は客観的に自ら振り返る機会になったことでしょう。

振り返りから
つなげたいもの
→A

⑤ こうした“振り返り”から、新たな目標や次に試行してみたいことや挑戦してみたいことを見つけ、主体的に園運営に参画してほしいと思います。

ことばがけ

次年度のもう一つのテーマは、これも今年度に引き続いて“言葉がけ”とします。

禁止・命令・否定×

使わないようにしたい言葉は、「否定」「禁止」「制止」「命令」「脅迫的…」等など。例えば、「早くして、急いで」「だめ」「まだできないの」「～しなかったら、～できないよ」。

賞賛・共感・励まし
○

意識して使いたい言葉は、「賞賛」「励まし」「共感」「承認」など、肯定的な言葉。「ありがとう」「すごいな」「～してくれて、うれしいな」「だいじょうぶだよ」等でしょうか。つまりは、子どもの主体性を育むような・自己肯定感を高めるような、子どもに共感してあげるような・安心感を与えるようなにつながるような・明日につながるような「言葉がけ」が大切だと考えます。

保護者対応

保護者対応も然り。丁寧で肯定的な言葉がけをベースに、保護者の願いや想いを受けとめることや、保護者の立場に立って気持ちや悩みを想像し、寄り添うことが大切だと思います。

日本チームが
一つになった
1+1=2+@

北京オリンピックでのスキージャンプ混合団体から…、チーム。

次年度はこれまで以上に「チーム」を意識して、「1+1=2+@」となるような機動的な組織による園運営に力を注いでいきたいと考えます。

例えば、コロナ対応。変異株が出現に伴い、関係機関の対応が変わる中、ベーシックなマニュアルを振り所にしつつも、その時々最善のために知恵を出し合い、チームワークを駆使して事にあたらなければなりません。

チーム日の出

次年度は職員の英知を結集し、個々の力を合わせて、「チーム日の出」を合言葉に園運営を進めていきたいと考えます。

日の出保育園 経営方針

1 保育理念

豊かな可能性を内に秘めた子ども一人一人の人格を尊重し、それぞれの良さを認め、引き出し、伸ばすとともに、他を思いやる心やコミュニケーション力を育て、これからの社会をたくましく生き抜く基礎を培う。

2 保育方針

一生に一度のこの時期を日の出保育園で過ごせて良かったと語り継がれる保育園でありたい。そのため、保護者と保育者が一体となり、「安全・安心」と「安定」をキーワードに、最善の保育環境を整え、子どもにとって保育園が心の居場所となるようきめ細かな経営の充実に努めたい。

○ “安全・安心”とは、

保護者にとってあずけて安心、子どもにとって安らぎの気持ちで安心して園生活ができるよう、常に安全な保育環境を作り出す努力を続ける保育園であること

○ “安定”とは、

保育者の視線が、子どもに注がれ、常に、質の高い保育を提供できる保育園であること

3 めざす姿

○ 保育園 『笑顔いっぱい、元気いっぱい、友だちいっぱい』の保育園

○ 子ども【生き抜く力】

- ・自分の考えを話せる子ども
- ・友だちと仲よく遊べる子ども
- ・最後までやりとげる子ども

○ 保育者

- ・笑顔で子ども、保護者に接する保育者
- ・子ども一人一人の育ちに気づき、実践を重ねる保育者
- ・前例踏襲に捉われず、知恵を出し合い工夫改善を続ける保育者

○ 三つの姿とめあて

保育園 子ども	笑顔いっぱい	元気いっぱい	友だちいっぱい	保育者	保育指針 育ちの姿(10項目)
自分の考えを 話せる子	話をしっかり聞 こう	元気なあいさつ と返事をしよう	気持ちをはっき り伝えよう	一往復半の 仕掛け	思考力の芽生え 言葉による伝え合い 豊かな感性と表現
友達と仲よく 遊べる子	工夫して遊ぼう	体を使って遊ぼ う	みんなと遊ぼう	遊びづくり の黒子	健康な心と体 協働性 道徳・規律意識の芽生え 社会性との関わり
最後まで やり遂げる子	できることをい っぱい増やそう	自分でやってみ よう	みんなで作って みよう	ほめの達人	自立心 数量・図形、文字等 自然との関わり・生命の尊重

4 運営の基本

【保育】

- (1) 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。〔保育所保育指針〕
保育指針に則り、保育の質の充実を図り、保育目標を具体化する。
- (2) 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。〔育ちの姿〕
豊かな経験の機会を通して、「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。
- (3) 心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。〔基本的生活習慣〕
心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。
- (4) 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけて臨む。〔個性の伸長〕
一人一人が認められ、大切にされる温かなクラス経営をすすめる。
- (5) 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。〔専門性〕
専門性の向上に努め、質の高い保育実践をすすめる。

【組織・運営】

- (6) 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。〔保護者支援〕
保護者の願いや期待を受け止め、子育て支援の充実を図る。
- (7) 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。〔連携・共生〕
情報発信を通して、家庭や地域、学校をはじめ関係機関との連携を図る。
- (8) “振り返り”を習慣化し、常に保育所保育の改善・充実を図る。〔振り返り〕
自己評価等を通し、計画的に保育の改善を図る。
- (9) 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。〔危機管理〕
社会福祉法人として法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。
- (10) 社会人としての自覚を持ち、最初から最後までチームで課題解決に当たる。〔職場づくり〕
新しい挑戦を受けとめ、やりがい共有できる職場づくりを進める。

5 重点となる推進事項

【保育】

〔保育所保育指針〕 「全体的な計画」を不断に見直し、保育の質の充実を図る。

- (1) 体験を通し多様で変化のある学びを工夫する。
- (2) 日々の「あそび」を振り返る。
- (3) 「全体的な計画」を理解し、実践と関連づける。

〔育ちの姿〕 豊かな経験と「あそび」を支援し、子どもの育ちを保証する。

- (1) 子どもの主体的な「あそび」を保証する。
- (2) 個人の記録、作品、写真など、育ちの姿を見える化する。
- (3) 多様な機会、人材を活用し、「本物」に触れる。

〔基本的生活習慣〕 心と体の健やかな成長を支え、基本的生活習慣の定着を図る。

- (1) 粘り強く、きめ細かく、「待ち」の姿勢で支援する。
- (2) 保育士自身が子ども一人一人の育ちの違いを自覚する。
- (3) 特別な配慮を要する子どもを理解し、全職員が共通した支援体制で取り組む。

【個性の伸長】 一人一人が認められ、大切にされる言葉がけで臨む。

- (1) 子どもの育ちに合わせ「日の出スタンダード(例：挨拶、返事、聞く姿勢など)」に取り組む。
- (2) 子どもの心に寄り添う望ましい言葉がけを工夫する。
- (3) チーム保育を自覚し、子どもを多面的に支援する。

【専門性】 専門性向上を自覚し、質の高い保育実践を進める。

- (1) 園外研修を通し、ステップアップ・スキルアップ・キャリアアップにつなげる。
- (2) 緊要な課題解決や日常の実践につながる園内研修の推進に努める。
- (3) 自己目標を振り返り、自己研鑽し、日常実践に意識を集中する。

【組織・運営】

【保護者支援】 保護者の願いや期待に応える受容的、共感的な子育て支援を進める。

- (1) 送迎時の声かけ、便り、ボード、連絡帳など、情報共有による信頼関係づくりをする。
- (2) 保護者の声に耳を傾け、保育所保育の改善に生かす。
- (3) 内容の軽重を問わず、親身に、迅速に、組織として応える。

【連携・共生】 情報発信を工夫して、家庭や学校、地域、関係機関との連携を図る。

- (1) 学校訪問や教員との情報交換など、小学校との連携の形を継承し、円滑な接続に生かす。
- (2) HPや便り、行事の公開や職業体験受入れなど、地域における公益的な役割を果たす。
- (3) 関係機関等の専門性を活用し、緊密な連携の下、諸課題の解決につなげる。

【振り返り】 振り返りを習慣化し、常に保育所保育の改善を図る。

- (1) 振り返りは、〔評価(check)－改善(action)－計画(plan)－実施(do)〕を基本とする。
- (2) 運営評価から課題を整理し、目に見える改善策に取り組む。
- (3) 評価結果、改善点等を公表し、満足度の高い保育園を実現する。

【危機管理】 法令等を順守し、福祉サービスの責任を全うする。

- (1) 一人一人の「ヒヤリハット」を共有し、日常の安全管理を徹底する。
- (2) 子どもの命を最優先に、感染症、防災、アレルギーなど最新情報に基づく運営を進める。
- (3) 会計、文書管理、個人情報保護など、公私にわたり社会福祉法人として関係法令を遵守する。

【職場づくり】 自覚ある社会人として、最初から最後まで全員で課題解決に当たる。

- (1) 諸会議、職員面談、日常的な情報交換などを通じて、双方向で“気付き”を伝えあう。
- (2) 「報告・連絡・相談」を徹底し、全職員で着実に課題解決を図る。
- (3) 個々の事情を尊重し合う一体感のある職場づくりを目指す。

II 事業予定

I 事業予定

月	日	曜	行 事 等	月	日	曜	諸 会 議 関 係
4	1	金	令和4年度進級・入園式				
	12	火	身長・体重測定				
	13	水	内科検診				
	20	水	4月誕生会				
	21	木	歯科検診				
	26	火	交通安全指導(岩見沢自動車学校)				
	27	水	子どもの日お楽しみ会				
5	9	月	運動能力測定(以上児)	5	13	金	令和3年度第4回監査会
	18	水	5月誕生会		20	金	令和4年度第1回理事会
6	2	木	遠足	6	10	金	令和4年度定時評議員会
	23	木	遠足 消防署見学				
	29	水	遠足6月誕生会				
7	13	水	7月誕生会				
	21	木	バス遠足(ぶどう組)				
	26	火	年長交通安全指導(岩見沢自動車学校)				
8	3	水	おまつりごっこ(夏まつり)	8	17	水	第1回監査会
	5	金	七夕		24	水	第2回理事会
	24	水	8月誕生会				
9	1	木	防災の日 避難所避難訓練				
	15	木	運動会				
	28	水	9月誕生会				
	29	木	りんご狩り(以上児クラス)				
10	3	月	個人懇談(10/3~7、10/11~14)				
	4	火	身体測定				
	5	水	内科検診				
	13	木	歯科検診				
	19	水	10月誕生会				
11	16	水	11月誕生会				
12	1	木	生活発表会	12	15	木	第2回監査会
	8	木	もちつき		22	木	第3回理事会
	14	水	12月誕生会				
	23	金	クリスマス会				
1	6	金	保育開始				
	20	金	雪中運動会				
	25	水	1月誕生会				
2	3	金	節分				
	15	水	2月誕生会				
3	1	水	交通安全指導(ぶどう)	3	16	水	第3回監査会
	3	金	ひなまつり		24	木	第4回理事会
	9	木	買い物ごっこ				
	15	水	3月誕生会				
	22	水	卒園式総練習				
	25	土	令和4年度第52回卒園式				
4	1	土	令和5年度第53回進級・入園式				
				5	12	金	令和4年度第4回監査会
					19	金	令和5年度第1回理事会
				6	9	金	令和5年度定時評議員会

2 「なかよし ほいく」

なかよしほいく	対 象	実施回数等
もじや かずと なかよくなるう	れもん・ぶどう組	年間 15~20 回程度
たいいくと なかよくなるう	以上児	月 1 回
えいごと なかよくなるう	れもん・ぶどう組	月 2 回 (れもん・ぶどう組各 1 回)
ボールと なかよくなるう	ぶどう組	月 1 回
クッキングと なかよくなるう	いちご組以上	年数回
ほんと なかよくなるう	全クラス	随時
うたや りずむと なかよくなるう	全クラス	随時

3 園児数

区分	クラス名	在 籍 数		合 計	移園児等内数	参 考 昨年度末
		男 子	女 子			
0 歳児	さくらんぼ	3	4	7	新 7	8
1 歳児	もも	9	7	16	移園 2 新 6	15
2 歳児	いちご	7	11	18	新 1	17
3 歳児	りんご	8	12	20	新 3	21
4 歳児	れもん	7	13	20		22
5 歳児	ぶどう	8	13	21		21
合 計		42	60	102	移園 2 新 17	104

※ 令和 4 年 4 月 1 日現在